



平成19年11月20日  
内閣府  
政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)

総合科学技術会議 科学技術連携施策群 ナノバイオテクノロジー連携群  
成果報告会の開催について

標記の成果報告会を下記のとおり開催します。成果報告会は、一般に公開する形で行いますので、傍聴を希望される方は下記のWebにより登録してください。

主催：内閣府

共催：文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省

日時：平成19年12月5日(水) 11時00分～17時00分

場所：日本科学未来館(お台場) みらいCANホール、第2・第3会議室

〒135-0064 東京都江東区青海2-41

一般傍聴者の受付(参加申込等の詳細についてはこちらにお問い合わせ下さい。)

独立行政法人科学技術振興機構 科学技術連携施策群支援業務室

ナノバイオテクノロジー担当 成果報告会係

電話 03-3595-6208

申込み方法：下記Webから12月2日までをお願いします。

<http://www.renkei.jst.go.jp/sympo/nanobio02/index.html>

(問い合わせ先)

内閣府政策統括官(科学技術政策担当)付

ナノテクノロジー・材料担当 大原

電話：03-3581-9940(直通)

FAX：03-3581-9969

科学技術政策に関するHPアドレスはこちら  
<http://www8.cao.go.jp/cstp/s&tmain.html>

総合科学技術会議 科学技術連携施策群 ナノバイオテクノロジー連携群 成果報告会  
～ナノバイオテクノロジーが拓くイノベーションの世界～

趣旨： ナノバイオテクノロジー連携群は、総合科学技術会議のイニシアティブの下、科学技術連携施策群の一つとして推進されております。平成15年度から府省「連携プロジェクト」として実施されていた「ナノドラッグ・デリバリー・システム(DDS)」及び「ナノ医療デバイス」に係る研究開発施策を引き継ぐかたちで平成17年に創設されました。

ナノバイオテクノロジーに関する研究開発は、診断・医療・創薬分野のみならず、食品の開発や生体に各種の影響を及ぼす毒物、病因・環境物質の測定などの広い分野への応用が考えられるなど対象とする領域も広く、関連する研究も多岐にわたります。そのため、各省それぞれが担当する様々な研究・施策を有機的に連携させ、基礎研究から実用化・製品化にわたる全ての段階を俯瞰的に捉え、融合を図ることが非常に重要です。

総合科学技術会議科学技術連携施策群「ナノバイオテクノロジー」連携群では、昨年度に引き続き、成果報告会を開催することになりました。本成果報告会においては、対象施策の事業成果について、研究者並びに広く一般の方々に知っていただくとともに、各研究や各省の事業の連携と融合を更に深めるために役立つことを目指しています。

プログラム：

- 11:00～ - ポスターセッション -
- 13:00～ 挨拶 総合科学技術会議議員 奥村直樹
- 13:05～ 「分子レベルから生命機能へ」 (独)理化学研究所 茅 幸二
- 13:30～ 「超臨界ハイブリQDイメージングと治療法」 国立感染症研究所 鈴木和男
- 13:55～ 「独創的ホール検出システムと磁性ナノビーズを用いた  
超高感度バイオセンサーの開発」 東京工業大学 サンドゥー・アダルシュ
- 14:20～ - 休憩・ポスターセッション -
- 15:20～ 「ナノとバイオの融合、その将来展望」 (株)三菱総合研究所 亀井信一
- 15:45～ 「ナノバイオテクノロジー連携群ロードマップ作成に向けて」  
ナノバイオテクノロジー連携群 コーディネーター 梶谷文彦
- 16:00～ 「パネルディスカッション：ナノバイオテクノロジーによる社会への貢献に向けて」  
内閣府 大臣官房審議官 大江田憲治  
内閣府 政策統括官付 政策企画調査官 成瀬雄二郎  
(独)科学技術振興機構 上席フェロー 田中一宜  
(株)三菱総合研究所 科学・安全政策研究本部 副本部長 亀井信一  
ナノバイオテクノロジー連携群 コーディネーター 梶谷文彦  
文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省
- 16:55～ 閉会の辞 ナノバイオテクノロジー連携群 コーディネーター 梶谷文彦

「本報告会は、総合科学技術会議のイニシアティブの下、平成19年度科学技術振興調整費によって実施されています。」